

つくば市記者会 御中

発信日：令和3年（2021年）12月14日（火）

発信元：つくば市 政策イノベーション部 科学技術振興課

■取材依頼 □周知依頼 □募集告知 □その他

筑波大学が行う水素燃料電池バスを活用した「災害医療モビリティ」の実証実験に協力します

つくば市は、筑波大学が「水素燃料電池バスを用いた防災・感染症対策システムの開発」事業の一環で実施する、感染症対策システムを備えた「災害医療モビリティ」の実証実験に協力します。

これは、市独自で実施しているPCR検査の際に、採取された検体の一部を用いて水素燃料電池バス「SORA」内において臨床研究を実施するもので、災害時の感染症検査フローを検証することを目的としています。

【日時】

令和3年12月15日（水）から12月17日（金）

【取材可能日時】

令和3年12月17日（金）9時から11時

【場所】

つくば市役所本庁舎西側駐車場



水素燃料電池バス「SORA」（写真提供可）

【その他】

- ・本事業は、筑波大学附属病院臨床研究倫理審査委員会で承認をされた実証実験です。
- ・市独自PCR検査をされる方には、事業の概要等を説明し任意でご協力いただきます。
- ・12月17日（金）は、市の公用車である水素燃料電池自動車「MIRAI」から水素燃料電池バス「SORA」に電力供給し、PCR検査を行います。
- ・取材を希望される場合は、直接つくば市役所本庁舎西側駐車場にお越しください。申し込みは不要です。

「水素燃料電池バスを用いた防災・感染症対策システムの開発」について

筑波大学は、内閣府戦略的イノベーション創出プログラム（SIP）「国家レジリエンス（防災・減災）の強化」の採択事業「水素燃料電池バスを用いた防災・感染症対策システムの開発」に使用する水素燃料電池大型バスの車両開発を完了し、2021年10月より同車両を用いた感染症検査機能の実証実験をスタートしました。今後、市は臨床研究や感染症対策の施された避難所のレイアウトを検証するためのフィールド提供を行い、本事業に協力していきます。